

平成23年度 一般会計補正予算

務教生設
業建設
総文厚
産業

委員会NEWS

総務関係

●主たる事業

△防災ハンドブック作成
事業

△伊予消防等事務組合負担金

●審査内容の主なもの

問 防災ハンドブックと

はどのようなものか。

答 東日本大震災を教訓に、いつ起こるとも限らない地震や津波等の



身近な防災
ハンドブックでしっかりと

問 被災地への職員派遣にかかる費用は。

答 これまでは、予備費にて対応してきましたが、今後とも職員の派遣要請が続くと考えられます。

今後、5名程度の派遣のための時間外勤務手当と旅費を補正するものです。

職員の派遣については、県が取りまとめを行いチームを編成し、派遣していきます。

文教関係

●主たる事業

△学校生活支援員事業
△学校耐震補強及び大規模改修事業
△文化センター維持管理事業

●審査内容の主なもの

問 教職員のパソコン購入の理由は。

答 特別支援学級の教員が増えたことにより配備が必要になりました。

問 学校生活支援員増員の理由は。

答 支援を要する転入児童のために増員するものです。

問 学校耐震化工事での仮設校舎の必要性は。

答 松前小学校南校舎は耐震工事と併せて大規模改修を実施するため仮設校舎を予定しています。大規模改修を伴わない耐震工事の場合は、既存の校舎を利用するなど、効率的な工事の実施に努めます。

問 給食センターの臨時調理員増員の理由は。

答 アレルギーの児童数は平成8年が3名、今年度は21名です。アレルギーの品目も2種類から19種類と増えていて、より安心して食べられる給食を提供するための増員です。

問 文化センター舞台のワイヤーロープ等取替え工事の内容は。

答 工事は、今年度第1期工事を行い、3期工事で完成します。工事中は、利用者に不便をかけないように業者と連携をしながら計画的に行います。

厚生関係

●主たる事業

△コミュニティ助成事業
△コミュニティ施設整備事業（塩屋集会所）
△総合検診事業
（大腸がん・肝炎対策）

●審査内容の主なもの

問 コミュニティ対策事業の関係で、宝くじ助成事業への町としての申請件数と審査基準は、事業の継続性はあるのか。

答 申請件数は5件で、コミュニティ施設整備事業審査委員会により優先順位を決め申請しています。

継続については、今後の制度の状況により積極的に活用したいと考えています。

問 大腸がん検診の対象人数は。

5歳刻みの事業であり、最低でも5年間の継続が必要だ。国はこの事業を継続するのか。国の事業が



文化センター舞台裏ワイヤーロープの取り替え